

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年 8月 12日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
 理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署） 和田 晃

1. プログラム名称			
国立病院機構大阪医療センター 病院総合医研修プログラム			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	和田 晃	学会会員番号	
所属・役職	統括診療部長、総合診療科長		
所在地・連絡先	住所 〒540-0006 大阪市中央区法円坂 2-1-14 電話 06-6942-1331 FAX 06-6943-6467 E-mail wada@onh.go.jp		
連絡担当者氏名*・役職	*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載		
連絡先	電話	FAX	
	E-mail		
3. 最近1年間のプログラムの概要			
・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください			
<p>当院が病院総合医研修プログラムの認定を受けたのが昨年度であること、また、総合診療科の医員 1名は、日本内科学会認定医で、近々、総合内科専門医の資格を取得する予定であり、本プログラムの対象者とならないことから、昨年度は研修者がいなかった。</p> <p>しかしながら、上記のように来年度もしくは来々年度から本格的な研修を行うため、現在、現行のプログラムの改善点などを明らかにすることを目的に、試行的にプログラムを適応している。</p> <p>対象者である総合診療科医員の小笠原充幸医師は昨年度、日本プライマリケア連合学会認定医取得、現在指導医の申請予定中。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績		
25 年度	新規研修開始者数	0 名
	研修修了者数	0 名
年度	新規研修開始者数	名
	研修修了者数	名

5. 現在のプログラム研修者該当者数 (研修休止中の者を含む)							
1年目	0名	2年目	0名	3年目	0名	4年目	0名

6. プログラムにおける指導医 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載			
氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
和田 晃	S56年	総合内科専門医	腎臓専門医、透析専門医
中島 伸	S59年	脳神経外科専門医	

7. 施設・診療科診療実績概要			
病床数	694	床 (内総合診療部門定床	10 床)
総合診療部門外来患者実績	初診 約	100 人/月	再診 約 100 人/月
総合診療部門入院患者実績	平均 約	20 人/月	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者1人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約	240 症例
集中治療室 (ICU)・HCU 入院症例	約	20 症例
外来継続診療症例	約	50 症例
看取り症例	約	10 症例
委員会活動実践事例	約	5 症例
教育実践事例	約	100 症例
研究実践事例	約	0 症例

9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 5 症例	細菌性心内膜炎、心不全 (心臓喘息など)
	約 %	
呼吸器系	約 88 症例	誤嚥性肺炎を含む肺炎、間質性肺炎、 気管支喘息、気胸、膿胸、結核
	約 %	
消化器系	約 20 症例	感染性胃腸炎、腸閉塞、小腸穿孔 急性膵炎
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 16 症例	糖尿病 (低血糖・高血糖性昏睡)、痛風、 甲状腺疾患 (亜急性甲状腺炎など)
	約 %	
神経系	約 27 症例	脳梗塞、症候性てんかん、髄膜炎 認知症、ウェルニッケ脳症
	約 %	
腎泌尿器科系	約 26 症例	急性腎盂腎炎、急性腎障害、電解質異常
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 5 症例	ANCA 関連血管炎、混合性結合織病、 成人スチル病、腸腰筋膿瘍
	約 %	
皮膚	約 4 症例	蜂窩織炎、蕁麻疹 (アナフィラキシーを 含む)
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 9 症例	BPPV、メニエル病
	約 %	
その他	約 65 症例	薬物中毒、癌 (肺癌、悪性リンパ腫など) アミロイドーシス、偽痛風、骨折など
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）

研修期間に習得すべき目標と経験症例を設定している。

11. プログラムの質の向上・維持の方法

登録研修医がいないが、現在の総合診療科医師を対象に試行し、問題点など改善すべき点を調べている。また、登録研修医を増やし、多くの病院総合医を育成するため、他科の総合内科専門医も研修できるようにプログラムの見直しをすすめたい。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください

総合診療科医員の小笠原充幸医師は、まだ、内科学会の認定医であるため正式な研修を行ってはいないが、当院の研修プログラムに準じて on the job training をおこなっている。当院の特徴である、専門診療科からなる急性期病院の中で、日常遭遇する、境界領域・他領域重複疾患の患者や、術後患者の合併症のコンサルテーション、特に感染症の治療など、また、病棟では感染対策ならびに医療安全の担当者としても病院にとって重要な役割を果たしている。さらに初期研修医の教育についても、総合診療科を必修科としており、毎年 16 名程度の研修医を指導している。